

QRコードを読み取っていただくとホームページを見ることができます。小値賀小学校の情報を様々に発信中です!



# 小値賀っ子だより



学校スローガン『挑む!』 令和5年9月1日発行 第6号 校長 小川 広孝

## みんな おかえり

42日間の長い夏休みが終わり、今日から2学期がスタートしました。みんな元気に登校してくれたことが何よりも嬉しかったです。昨年度も、『おかえり』という言葉で、学校だよりを書き、子供たちを迎えました。この『おかえり』という言葉には、少しばかりこだわりがあります。私の地元にある「諫早市こどもの城」に「おかえり」というオリジナル曲があります。子供一人一人の存在を認め、目の前の子供を愛する魂(気持ち)が込められている曲です。前館長の池田尚さんから子供を愛する原点を教えてもらい、共に学ばせていただきました。教師として、親としての考え方を教授いただいた思い出があります。メロディはお伝え出来ませんが、歌詞をご紹介します。(作詞・曲:池田尚)

1 いい子にしていたよ  
成績がよかったよ  
試合で活躍したよ  
よかったね  
でももう一つ ほめてあげたい  
それは、君がそこにいること  
おかえり.....

2 安心できるから  
挑むことができる  
それが力になるよ  
いつの日か  
でももう一つ 応援したい  
それは、失敗しても君が好き  
おかえり.....



小値賀小学校では、1学期に引き続き、『挑む』という学校スローガンのもと、学校教育目標『自律に向かう 挑み続ける 小値賀っ子の育成』を目指し、子供に自信をつける教育を進めて参ります。そのプロセスにおいて、大切にしている2つのことと、1つの願いをさせていただきます。大切にしていることは、①学校を子供たちが安心できる環境にしていくこと②子供に自己決定の機会を与えていくことです。

お願いしたいことは、各御家庭・地域でも、可能な限り子供たちに自己決定の機会を与えていただきたいということです。なぜならば、親や教師が口や手を過剰に出すことなく、常に子供に自己決定の機会を与えていくことで自己肯定感が高まり、自ずと自信と主体性が身に付いていくからです。また、自己肯定感とは「自分は自分のままでいいんだ」という自分にOKを出す感覚、自分に対する自信がある状態だからです。

最後になりますが、子供の成長には、身体と脳の成長があります。脳の成長に必要なことは知識を詰め込むことだけではないと考えます。小値賀小学校では、脳を思う存分使わせながら、考える力、創造する力、対話をする力、感情をコントロールする力等を、様々な体験を通して鍛えて参ります。2学期も、本校・分校の教育活動に対しまして、御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。